

平成 29 年第 2 回定例会一般質問通告概要一覧表

質問順	受付月日	6. 8	通 告 者	8 番	藤 原 益 栄
1 番	答 弁 者	市 長	発言時間	30分	種別 一問一答
<p>1. 東大寺展について 事業の縮小をあらためて求める。</p> <p>2. 生活支援の施策について ①西部線の運賃一律 200 円を 100 円にする、②低所得世帯への上・下水道料金の基本料金の減免、③準要保護の基準緩和など、生活応援の諸施策を推進されたい。</p> <p>3. 多賀城創建 1300 年事業と南門等の復元について (1) 2023 年までに、最低、南門復元、南門から県道玉川・岩切線までの南北大路、大路広場については整備すべきと考えるが、市長の見解を問う。 (2) 多賀城創建 1300 年にかかわる事業について、これまでに検討したことを報告されたい。</p> <p>4. 東北学院大学工学部移転について 東北学院大学から、どのような説明があったのか。内容を明らかにされたい。また、一部については、市としての活用の検討も必要と考えるが、いかがか。</p>					

質問順	受付月日	6. 8	通告者	3番	鈴木新津男
2番	答弁者	市長	発言時間	30分	種別 総括
<p>1. 多賀城創建1300年について</p> <p>西暦724年大野東人により多賀城が造営されてから平成36年で1300年の記念すべき年を迎えます。</p> <p>奈良市では、平成22年に平城遷都1300年祭を大々的に開催されたのは記憶に新しいものがあります。わが市では奈良市のような大々的な事業はできないと考えます。身の丈にあった事業で後世につなげられるものにしてはどうかと考えるが市長の考えを伺います。</p> <p>2. 文化財を生かした観光客の誘引について</p> <p>平成28年3月に出された（多賀城市観光推進プロジェクト事業に関する調査研究）の報告書によると、本市のイメージは圧倒的に歴史が1番であるとされていますが、実際、観光客は自然要素の加瀬沼周辺を訪れていると報告されています。</p> <p>東北随一の文化交流拠点となった新図書館から文化センター・高崎廃寺・東北歴史博物館・政庁・加瀬沼へと人々を回遊させるように施策をとるべきと思います。報告書の109ページにあるように、政庁周辺の環境を整備し、野外観察にもすばらしい環境とし、観光客の回遊につなげてはどうか、市長の考えを伺います。</p>					

質問順	受付月日	6. 8	通告者	7番	金野次男	
3番	答弁者	市長	発言時間	30分	種別	総括
<p>1. 危機管理について</p> <p>今年度は、多賀城市地域防災計画及び多賀城市国民保護計画を見直しすることになっておりますが、誰もが不安に感じている昨今の北朝鮮情勢を踏まえ、次の二点についてお伺いたします。</p> <p>(1) 弾道ミサイル発射情報に対する職員の初動体制について</p> <p>国は、弾道ミサイル発射情報について、Jアラート（全国瞬時警報システム）を通じて住民へ知らせる仕組みであると説明している。国防に関しては第一義的には国が主体的に行うものと理解しているが、国民保護法及び多賀城市国民保護計画では、市町村の責務として、避難指示の伝達及び避難住民の誘導等を実施することになっている。万一の事態に備え、職員の初動体制はどのようになっているのか。</p> <p>(2) 弾道ミサイルを想定した防災訓練の実施について</p> <p>国から弾道ミサイル避難訓練の実施を促す通知が来ているようだが、本年3月に秋田県男鹿市で実施されたミサイル想定訓練のような防災訓練を実施する予定があるのか。想定訓練の際には、災害対策本部に特化するなど関係者の個別訓練を行うべきと考えるがいかがか。</p>						

質問順	受付月日	6.9	通告者	14番	雨森修一
4番	答弁者	市長	発言時間	30分	種別 総括
<p>1. 多賀城跡の外郭南門復元計画について</p> <p>多賀城跡は、2024年、創建1300年を迎える。</p> <p>多賀城市はこれまでも「史都多賀城」をうたい歴史遺産を生かしたまちづくりを推進してきました。</p> <p>市の原点である多賀城跡、そのシンボルとして「南門復元」と市長は考えているようにも思われる。南門復元は多大な費用とともに経済的効果が不明、未来永劫「維持・管理」など難問題と考える。</p> <p>市民に歴史遺産の価値と活用について説明し、今南門の復元が必要なのか、又、今後の課題として復元計画を残すべきかを問う事が原点であると思われる。</p> <p>新聞報道によりますと、一部の市幹部からの漏れる声として、今後本市の財政は厳しくなる。さらなる大規模な観光事業について、市民の正しい理解が得られるかどうかとの声がある。</p> <p>市長は、財政状況を考えながら年内に決断すると表明しているが、市民に対しどのような方法で説明をされるのかお伺いいたします。</p>					

質問順	受付月日	6. 8	通告者	10番	森 長 一 郎
5番	答 弁 者	市 長	発言時間	30分	種 別 総 括
<p>1. 更生保護について</p> <p>犯罪や非行をした者の就労確保のための支援を求める。</p> <p>(1) 保護観察対象者の雇用について</p> <p>刑務所出所者等の再犯防止の要となるのは、就労の確保であり、社会全体で再犯防止を進める観点から、地域の実情を踏まえつつ、多賀城市役所でも就労の確保を願いたい。</p> <p>(2) 協力雇用主支援等の取組について</p> <p>公共工事等の入札参加資格審査及び総合評価落札方式において、前科前歴等の事情を承知の上で雇用する事業主（協力雇用主）として登録している場合、又は、協力雇用主として保護観察対象者等を雇用した実績がある場合に、社会貢献活動や地域貢献活動として加点してはいかがか、所見を伺う。</p>					

質問順	受付月日	6. 8	通告者	16番	昌 浦 泰 巳
6番	答 弁 者	市 長	発言時間	30分	種 別 総 括
<p>1. 今後、増加が見込まれる買い物弱者に関する考え方を問う</p> <p>経済産業省の調査では、全国的に買い物弱者が700万人いるといわれています。本市においては比較的恵まれているものの、今後、団塊の世代が後期高齢者へと移行し、少子化、高齢化の進行につれ、従来店舗の減少など「買い物弱者」の増加が想定されます。要介護の方には介護保険制度による支援がありますが、元気で生活しているものの、歩行や買い物が困難な方が増加していくことは明らかです。中には買い物を思うように出来ないため、十分な栄養を摂取できない方や、低栄養な食事を続けることにより、医療や介護に至るなど、買い物弱者は要介護の増加に繋がりがねません。そこで、本市における買い物弱者に対する中・長期的な考え方を伺います。</p>					

質問順	受付月日	6. 8	通告者	1番	中田定行
7番	答弁者	市長	発言時間	30分	種別 一問一答
<p>1. 国民健康保険県単位化の現状と保険税の引き下げについて</p> <p>2018年度から国民健康保険の保険者が県と市になることについて、県の国保運営方針案が示されていますが、以下の点について市長に伺います。</p> <p>(1) 県単位化に向けた取り組み経過・実施に向けたスケジュールはどうなっていますか。</p> <p>(2) 県単位化によって保険税が引き上げられる恐れはないですか。</p> <p>(3) 保険算定方式が変わるといわれていますが、どのような影響が出ると考えていますか。</p> <p>(4) 県は試算結果を公表していませんが、直ちに公表させどのような影響が出るのか検討すべきではありませんか。</p> <p>(5) 平成27年度の財政調整基金は被保険者1人当たりで多賀城市は50,410円、宮城県平均で34,764円、全国市町村平均で9,322円となっていて、県平均の1.45倍、全国平均の5.40倍もの基金保有額になっています。この財政調整基金と保険基盤安定制度（保険者支援分）を使って保険税を引き下げるべきではありませんか。</p> <p>2. 石炭火力発電所問題について</p> <p>仙台港に建設・計画されている石炭火力発電所について、以下の点について市長に伺います。</p> <p>(1) 知事及び仙台パワーステーションに対する働きかけはどのように行われ、その結果はどうなりましたか。</p> <p>(2) 今後、市としてどのような対応をとっていくつもりですか。</p> <p>(3) 公害防止協定の内容について見直しする考えはありませんか。</p> <p>(4) 大気汚染観測施設を多賀城市が設置する考えはありますか。</p> <p>(5) 仙台PSのほかに、（仮）仙台高松発電所、蒲生地区区画整理地にバイオマス発電所が計画され、大気汚染等については総量規制が必要だと思われませんが、どう考えていますか。</p>					

質問順	受付月日	6. 7	通告者	12番	齋藤裕子
8番	答弁者	市長・教育長	発言時間	30分	種別 一問一答
<p>1. 認知症対策について</p> <p>(1) 認知症初期集中支援チームの設置について</p> <p>家族からの相談を受け、認知症が疑わしい段階から家庭訪問をし、認知症の方の状態を把握し、早期診断、早期対応で家族の支援を行う認知症初期集中支援チームについて、国の「認知症施策推進総合戦略」では、2018年4月には全市区町村に設置すると聞いていますが、本市の取り組みについて伺います。</p> <p>(2) 認知症カフェ（居場所づくり）について</p> <p>認知症カフェは、身近な地域で気軽に立ち寄れることができ、認知症の家族同士の交流など高齢者の方の居場所となっております。本市においても地域高齢者の居場所づくりとして開設されていますが、本市の認知症カフェの充実と拡大に向けた取り組みについて伺います。</p> <p>2. 学校トイレの環境改善（洋式化）の推進について</p> <p>現在、家庭では洋式トイレが主流となっています。学校において、子どもたちが、使い慣れていない和式トイレに苦手意識を感じ、自宅に帰るまでトイレを我慢するなど、使用を避けている状況がみられ、健康面への影響が懸念されます。トイレは子どもたちの問題だけではなく、学校はコミュニティーの場であり、災害時の避難所にもなっていることから、高齢者や障がいのある方などが利用する際に、不便を生じかねません。迅速な整備が必要と考えますが、本市の学校施設のトイレ洋式化改善状況と、今後の洋式化への方針、改修目標について伺います。</p> <p>3. 東北学院大学多賀城キャンパス跡地を活用したまちづくりについて</p> <p>2021年を目標に、東北学院大のキャンパス集約との新聞報道がされています。本市においては工学部多賀城キャンパス閉鎖となる事で、大学側から工学部閉鎖後の方向性についてどのように聞かれているのか伺います。また、その土地活用とするならば老朽化施設の再配置や将来を見据えた地域ビジョンをもったまちづくりをと考えますが、本市の見解を伺います。</p>					

質問順	受付月日	6. 8	通告者	2番	戸津川 晴美	
9番	答弁者	市長・教育長	発言時間	30分	種別	一問一答
<p>1. 学校教育について</p> <p>以下の点について、所見を伺います。</p> <p>(1) 教育勅語について</p> <p>政府は教育勅語を教材として使用することを容認するかのような姿勢を示していますが、どのように捉えているか所見を伺います。</p> <p>(2) 全国学力・学習状況調査について</p> <p>①この調査が、子どもたちや学校現場に与える影響について、どのような認識をお持ちでしょうか。</p> <p>②市教委による学校別成績公表は、これまで同様、行うべきではないと考えますが、いかがですか。</p> <p>③この調査は、^{しっかい}悉皆でおこなう必要はなく、抽出で充分であると思えます。その予算を、少人数学級の拡大など、子どもに寄りそえる環境整備に充てるべきと思いますが、いかがですか。</p> <p>(3) 弾道ミサイルを想定した避難訓練実施について</p> <p>市内の小・中学校全てで実施されたようですが、この訓練でミサイル防災は不可能だと思いますが、子どもたちの心に不安を与えることにはならなかったでしょうか。</p>						

質問順	受付月日	6. 8	通告者	13番	根本朝栄
10番	答弁者	市長	発言時間	30分	種別 一問一答
<p>1. 防犯灯のLED化促進と経費節減について</p> <p>本市の防犯灯は各行政区が管理運営を行い、電気料の半額を市の補助金で賄っていますが、電気料が3分の1に節減されるLEDへの交換はそれほど進んでおらず、LED化促進と経費節減のため次の2点について伺います。</p> <p>(1) 名取市では10年間リース業者に街路照明灯及び防犯灯の管理運営を委託し、LED化の促進と経費節減を図っていますが、平成29年度予算特別委員会において本市でもリースを検討するよう提案しましたが、その後の検討はいかがですか。</p> <p>(2) LED化により電気料が3分の1に節減されますが、その削減幅がこれまでの市の半額助成分より減額されることとなります。従って、防犯灯の電気料が区の負担にもなっていることから、この際、区の負担を解消し、市が直接管理運営を行ってはいかがですか。</p> <p>2. 私道整備補助金の要件緩和について</p> <p>私道整備補助金については、平成18年度から補助金支給の要件と補助額を変更していますが、使い勝手の良い補助金とするため4m以下の私道にも活用できるように要件の緩和を図ってはいかがですか。</p> <p>3. 交通安全対策について</p> <p>市道新田上野線と市道新田下1号線が交差する十字路交差点は、山王小学校へ通う児童の通学路になっており、現在、信号機が設置されていないため、交通安全指導隊の皆様などが登下校時に交差点に立って児童の安全を守っています。しかし、年々交通量が増加しているうえ、指導隊の皆様がいないときなど、横断歩道に児童が立っていても停止しない車が多く散見され、大変危険な状況になっています。</p> <p>平成22年12月第4回定例議会の一般質問で取り上げた経緯もあり、この間も多くの地域の保護者から要望を受けており、学校及びPTAからも要望が出されていると聞いています。</p> <p>信号機の早期設置について、関係機関に強力に働きかけていただきたいと思いますが、今後の市の取り組みについて伺います。</p>					

質問順	受付月日	6. 8	通告者	11番	阿部正幸
11番	答弁者	市長	発言時間	30分	種別 一問一答
<p>1. 通学路の道路環境整備について</p> <p>通学途中に児童や生徒が犠牲となる事故が全国的に多発しており、安全・安心に通学できる道路環境整備が急務となっています。</p> <p>教育振興基本計画（案）の「学校の安全安心体制の確立」に、登下校時の安全確保を図るため、PTAや警察署、道路管理者などの関係機関と連携して通学路の安全点検を行い、改善必要箇所の対策に取り組むとあります。</p> <p>歩道が整備されていない道路の路側帯を緑色に着色して、車のドライバーに通学路であることを視覚的に認識させるとともに、通行帯を明確にして、歩行者との接触事故を防ぐことを目的にグリーンベルトの整備をしていただきたい。</p> <p>2. 津波・洪水ハザードマップの作成について</p> <p>津波・洪水ハザードマップ作成事業において、今年度中に従来の津波・洪水ハザードマップを更新して、全世帯へ配付する予定となっておりますが、色弱者等も識別できるCUD（カラーユニバーサルデザイン）等を配慮して作成していただきたい。</p>					

質問順	受付月日	6. 8	通告者	9番	佐藤 恵子	
12番	答弁者	市長・教育長	発言時間	30分	種別	総括
<p>1. 宮内地区の安全環境対策について</p> <p>5月13日、仙台市宮城野区仙台港北区にある金属スクラップ・リサイクル事業所で火災が発生し鉄くず等が焼失した。宮内地区には同事業所の施設があり、積まれているスクラップの量は多い。この事業所については過去微細粉塵飛散防止の対策をお願いしてきましたが、その対策を引き続き市として努力するとともに今回のような火災事故が宮内地区の施設では発生しないよう関係機関と連携し必要な対策を講じられたい。</p> <p>2. JR仙石線多賀城駅の整備・バス利用者の利便を図ることについて</p> <p>(1) JR仙石線多賀城駅に大型時計を設置するよう取り計らうとともに、駅出口のバス、タクシー乗り場の案内表示を大きく改善されたい。</p> <p>(2) 市内バス停留所時刻表の文字を大きくしてほしいとの要望がある。多賀城東部線、宮交汐見台団地線は特に小さい。時刻表の文字を大きくするとともに市内のバス停留所で設置可能な場所にはベンチを設置されたい。</p> <p>3. 図書館のバーコードラベルの貼り方改善について</p> <p>新図書館になり、本の表紙の目立つところにバーコードラベルが貼ってある本を多くみかけるようになった。</p> <p>その中には著者名や本の大切な顔になる写真やイラスト等の上に貼られている本もある。ラベルを貼る位置の改善を求めるがいかがか。</p>						